

オープンラカレin流山 酒井邦嘉先生講座 『考える教室』あとカルタ

2015. 9.27(日)@流山市生涯学習センター 主催: 茨城&東葛地域



東葛地域と茨城地域が共同開催となったこの講座、準備から二つの地域をメンバーが行き来しながら楽しみました！ サカインカイサと名付けた2地域合同の先生の著書の読書会、元トラカレ生リッキーの言語の普遍的構造仮説を聞く会、東葛合宿では先生の本をチームでポスターセッション・・・と、ことばと人間に迫る酒井先生の研究テーマは私たちの多言語体験を重ねてメンバー同士、話は毎回盛り上がり、本当に楽しい準備でした！

そして迎えた本番！ 会場に集まったのは総勢270名。子どもたちのかわいい歓迎パフォーマンスから始まり、東葛茨城地域紹介、多世代のメンバーの準備の様子シェアと温かい雰囲気の中、いよいよ先生のお話が始まりました。

～酒井先生のお話～ 酒井先生が出版された本と同名タイトルの講座でした。正多面体の「面の形」「面の数」「頂点の数」「辺の数」「オイラーの式」をみんなで求めていくという内容でした。正多面体は5種類。最初は頭の中で形をイメージしながら面の数や頂点の数、辺の数を考えたり、その求め方を考えたり、先生自ら作ってきた模型を手にして数えたりと、小学生から大人までいっしょに考え意見を出し合い、たいへん盛り上がった楽しい時間でした。最後のオイラーの式を求めるところでは、それぞれの数から法則を見つけた子供の柔軟さに、びっくり。「古代ギリシャ人は現代人のように学ぶ知識がなかったからなにもかも自ら考えてみつけていった。いまの私たちは知識を先に学んでしまった分、考えることをしなくなっている」という問題提起のあとの正多面体についてじっくりと考えた約1時間は、『考えること』の楽しさを会場全員で味わえた実にダイナミックな『考える教室』となりました。



最後の質問コーナーでは、「今日の話は楽しかったし、分かったけれども それで？」という質問に、酒井先生の回答がとても素敵でした。「数学者にとっては、これだけで実に楽しい。オイラーの見つけた式の美しさに感動する。」また、正多面体から銀河系の謎を解き明かそうとしたケプラーの話など、どんな質問にも酒井先生の答えは、さらなる展開と広がりがあり、もっともっとお話しを聞きたいとみなさん感じられたと思います。



～感想文より～

- ★頭だけではなく、身体も使って、正多面体の規則性を自分で見つけるのは、ヒッポの多言語活動と同じ♥わかった！の嬉しさ楽しさを体験できました。
- ★日ごろ使っていない脳を使いました。イメージできない図を書いて頂点や辺の数を数えようとしてもできない。子どもには、何かわからないことがあったとき、すぐに調べたら？と言っていました、今度から「もうちょっと考えてみない？」というようにしようとも思いました。
- ★約1年間準備して待ちに待った今日でした。先生の本をたくさん読み、地域のみならず共有してきて自分の視野も広がったと思います。本日の話で数学の美しさがわかりました。どうしても頭だけで考えてしまうのが、先生の「さわってみて実際に証明することが大切」という言葉にはっとさせられました。
- ★トラカレって面白いと聞いてはいたのですが、こんなに面白い講座だったのかと思い、ほかの講座にも行ってみたいと思いました！先生の多面体のお話、こんな規則が隠されていたのかと知ると、数学もおもしろいかも思いました。
- ★わからなくても自分なりに考える理解しようとする作業が今すぐに役に立たなくともその人の中で石炭(燃料)になっていること、ヒッポの活動と重なる場所もあり、納得し感動しました。
- ★正多面体が5つしかないということに驚きました。僕は中学生であり数学がすきではなかったのですが、今日の話聞いて、今までより少し数学に興味をもてるようになりました。
- ★質問コーナーもとても面白く、特に「～で？」に対する先生の答え、数学者はこれだけで十分というお話がとてもすてきだと思いました。また、美しいとおもうこと、やったという感覚、たとえそれが分野が異なっても未来にむかう原動力というお話もとても印象に残りました。考えるってたのしいですね！